

## 「国際二次電池展」出展のご案内



マクセルブース 外観イメージ

マクセル株式会社(以下、マクセル)は、2月28日(水)より開催される国際二次電池展に、マクセル独自の技術で開発した二次電池および二次電池を使用したアプリケーションを出展いたします。

また、3月2日(金)には 取締役会長 千歳喜弘による基調講演も予定しております。

1. 名称 国際二次電池展 (主催：リード エグジビション ジャパン)
2. 会期 2018年2月28日(水)～3月2日(金) 10:00～18:00 ※2日のみ17:00終了
3. 会場 東京ビッグサイト 西ホール1階/マクセルブース (ブース番号：W5-86)
4. 入場 5,000円(事前登録により無料)  
※公式サイト <http://www.batteryjapan.jp>よりお申し込みください。

### 5. 主な出展品

- マクセルのオンリーワン電池技術を搭載した二次電池【参考出品、一部デモ実施】  
角形耐熱二次電池、長寿命小型二次電池、リチウムを使用しないコイン形二次電池、マクセル高容量テクノロジー「ULSiON(アルシオン)™」など。リチウムを使用しないコイン形二次電池については (公称電圧1.5V、作動温度範囲0℃～+45℃)、デモにてBLE通信、マイコン、センサーが動作する様子をご覧ください。
- マルチ出力電源システム MDタイプ【参考出品、デモ実施】  
3.3V、5V、12Vの3種類の出力を個別制御可能な電源システム。センサーや通信機器の待機電力を抑制し、太陽電池や電源工事が必要だったIoTシステムを、一次電池だけで運用することが可能です。
- マルチ出力電源システム SDタイプ【参考出品】  
MDタイプ同様、電源システムがシステム全体の待機電力を抑えます。SDタイプは、ソーラーパネルとリチウムイオン電池を搭載しているため、消費電力が大きいルーター用電源としても使用可能です。
- 電子ペーパーサイネージ用電源システム【コンセプト展示、デモ実施】  
約10年間バッテリー駆動する、電子ペーパーサイネージのための通信機能付電源システム。マルチ出力電源システム同様、消費電力を抑制し、一次電池での長期運用が可能です。

●BCP 非常用蓄電システム「エナジーステーション タイプ T」

災害時等の事業継続用、電源確保に適したコンパクト蓄電システムです。

●くらしサポート HEMS 「Hemlia」【デモ実施】

クラウドサービスと専用端末の機能により、生活支援機能を強化した新しい HEMS です。

6. 基調講演について

●二次電池展セミナー 基調講演 (BJ-K:開発が加速する次世代電池の最新事例)

日 時 : 2018 年 3 月 2 日(金)10 : 30~12 : 30

テーマ : 「次世代社会を革新するマクセルのオンリーワン電池技術」

講演者 : マクセルホールディングス株式会社 代表取締役 取締役会長 千歳 喜弘

※事前申し込みが必要です。公式サイト <http://www.batteryjapan.jp/>よりお申し込みください。

※プログラムは変更になる場合がございます。

7. お問い合わせ先

マクセル株式会社 エナジー事業本部 新事業推進本部 企画部 TEL : 075-956-4149

皆様のご来場をお待ちしております。

以上